

消化器内科 Gastroenterology

1. スタッフ構成

- 二宮 朋之(副院長、地域医療キャリア形成支援センター長、地域医療連携室長、医療秘書管理室長)

1990年愛媛大学医学部卒

専門分野:消化器疾患(特に消化管疾患)

資格:日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会消化器病専門医・指導医・学会評議員、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医・消化器内視鏡指導医・学会評議員、日本超音波医学会超音波専門医・超音波指導医・代議員、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本消化管学会胃腸科専門医・胃腸科指導医、厚生労働省臨床研修指導医

- 平岡 淳(主任部長、消化器病センター副センター長)

1998年鹿児島大学医学部卒

専門分野:消化器疾患(特に肝疾患・肝臓)

資格:日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会消化器病専門医・指導医・学会評議員、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、日本肝臓学会肝臓専門医・指導医・評議員、日本超音波医学会超音波専門医・超音波指導医・代議員、厚生労働省臨床研修指導医

- 壺内 栄治(部長)

1996年愛媛大学医学部卒

専門分野:消化器疾患(特に消化管疾患)

資格:日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会消化器病専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医・指導医、日本肝臓学会肝臓専門医、日本消化管学会胃腸科専門医・指導医、日本ヘリコバクター学会ピロリ菌感染症認定医、厚生労働省臨床研修指導医

- 宮田 英樹(部長、内視鏡室長)

1996年札幌医科大学卒

専門分野:消化器疾患(特に胆膵疾患)

資格:日本内科学会認定内科医・指導医、日本消化器病学会消化器病専門医・指導医・学会評議員、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医・消化器内視鏡指導医、日本胆道学会指導医、日本膵臓学会指導医、厚生労働省臨床研修指導医

- 多田 藤政(部長)

2003年愛媛大学医学部卒

専門分野:消化器疾患(特に肝疾患・肝臓)

資格:日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、日本超音波医学会超音波専門医・超音波指導医、日本肝臓学会肝臓専門医・指導医、日本糖尿病学会糖尿病専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア認定医・指導医、厚生労働省臨床研修指導医

- 黒田 太良(部長)

2007年愛媛大学医学部卒

専門分野:消化器疾患(特に胆膵疾患)

資格:日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会消化器病専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医・消化器内視鏡指導医、日本膵臓学会指導医、日本肝臓学会肝臓専門医、日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア認定医・指導医、厚生労働省臨床研修指導医

- 川村 智恵(部長)

2008年愛媛大学医学部卒

専門分野:消化器疾患(特に消化管疾患)

資格:日本内科学会総合内科専門医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、日本肝臓学会肝臓専門医、厚生労働省臨床研修指導医

- 兼光 梢(医長)

2010年大分大学医学部卒

専門分野:消化器疾患(特に肝疾患・肝臓)

資格:日本内科学会認定内科医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、日本肝臓学会肝臓専門医、日本膵臓学会指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医

- 北畑 翔吾(医長、IBDセンター長)

2012年愛媛大学医学部卒

専門分野:消化器疾患

資格:日本内科学会認定内科医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、日本肝臓学会肝臓専門医、厚生労働省臨床研修指導医

- 泉本 裕文(医長)

2014年福岡大学医学部卒

専門分野:消化器疾患

資格:日本内科学会認定内科医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本消化器内視鏡学会上部消化管内視鏡スクリーニング認定医・大腸内視鏡スクリーニング認定医、厚生労働省臨床研修指導医

- 大西 慶(医長、地域医療キャリア形成支援センター兼務)

2014年自治医科大学卒

専門分野:消化器疾患

資格:日本内科学会認定内科医・指導医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、日本病院総合診療医学会認定医、厚生労働省臨床研修指導医

- 村上 大晟(医長、地域医療キャリア形成支援センター兼務)

2015年自治医科大学卒

専門分野:消化器疾患

資格:日本内科学会認定内科医

- 實藤 洋伸(副医長)

2017年愛媛大学医学部卒

専門分野:消化器疾患

資格:日本専門医機構内科専門医、厚生労働省臨床研修指導医

- 松岡 順子(非常勤医師)
2006年自治医科大学卒
専門分野:消化器疾患
資格:日本内科学会総合内科専門医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア認定医
- 柳原 映美(内科専門研修プログラム専攻医)
2020年愛媛大学医学部卒
専門分野:消化器疾患
- 中谷 康輔(専攻医)
2020年愛媛大学医学部卒
専門分野:消化器疾患
- 福本 真惟(内科専門研修プログラム専攻医)
2021年愛媛大学医学部卒
専門分野:消化器疾患
- 松岡 海南(内科専門研修プログラム専攻医)
2021年愛媛大学医学部卒
専門分野:消化器疾患
- 松田 拓也(内科専門研修プログラム専攻医)
2021年愛媛大学医学部卒
専門分野:消化器疾患
- 岩崎 竜一朗(診療委託)
- 寺尾 美紗(診療委託)
- 須賀 義文(診療委託)

2. 実績

■ 疾患別入院患者数

疾患名	患者数
食道癌	71
食道静脈瘤	45
胃潰瘍	33
胃癌	138
胃ポリープ	28
十二指腸潰瘍	24
潰瘍性大腸炎	19
クローン病	5
イレウス	59
結腸憩室炎	10
結腸憩室出血	33
大腸ポリープ	90
大腸癌	97
S状結腸軸捻転	4
肝炎	9
肝硬変	25
肝癌	157
膵炎	114
膵癌	148
急性胆嚢炎	33
胆嚢癌	9

急性胆管炎	215
胆管癌	55
総胆管結石	165
その他	374
合計	1,960

■ 主な検査・治療・手術件数

検査・治療・手術名	症例数
上部消化管内視鏡検査	5,466
下部消化管内視鏡検査	2,523
食道静脈瘤硬化術・結紮術	57
内視鏡的止血術(上部消化管)	87
内視鏡的食道拡張術	25
上部消化管異物除去	21
内視鏡的胃瘻造設術	16
内視鏡的大腸ポリープ切除	764
内視鏡的粘膜下層剥離術(食道)	20
内視鏡的粘膜下層剥離術(胃)	118
内視鏡的粘膜下層剥離術(大腸)	54
内視鏡的大腸止血術	40
上部イレウス管挿入	46
大腸イレウス管挿入	3
大腸ステント留置	50
小腸内視鏡	14
カプセル内視鏡	46
超音波内視鏡(上部・下部)	447
ERCP	768
EST	299
内視鏡的截石術	268
内視鏡的胆道ドレナージ	312
管腔内超音波内視鏡検査(IDUS)	44
腹部超音波検査	5,647
腹部造影超音波検査	135
腹腔動脈造影(TAE 除く)	12
肝腫瘍に対する肝動脈塞栓術	110
RFA	64
エコー下肝生検	18
肝硬度測定	163
経皮経肝胆道ドレナージ	10
胆嚢ドレナージ	22
肝膿瘍ドレナージ	7
BRTO	7

3. 2023年度目標

(1) 医療レベルのさらなる向上

医療レベルをさらに向上させ、愛媛県内のみならず、全国的にもトップレベルの診療ができるように診療のレベルアップを目指します。

(2) 医療安全の推進

リスクを伴う処置、治療が多いため、各人の医療安全意識の向上に努めるとともに、医療事故の発生確率を低下させるシステムづくりを医療スタッフと共に推進します。

(3) 医学的エビデンスへの貢献

当院の診療経験で得られた知見をガイドライン作成に貢献できるような学術論文として継続して報告していくことで、自らの医療レベルの継続的振り返りを心がけて日常診療へフィードバックを行います。

4. 学術関係

(1) 学会発表および講演

1. 平岡淳、熊田卓、多田俊史、広岡昌史、狩山和也、厚川正則、谷丈二、福西新弥、田尻和人、飯島尋子、辻邦彦、高口浩一、糸林詠、石川達、越智裕紀、豊田秀徳、小川力、柿崎暁、島田紀朋、川田一仁、大濱日出子、大久保知美、新井泰央、糸川典夫、長沼篤、安田論、今井径卓、西村貴士、小泉洋平、筒井朱美、上甲康二、能祖一裕、日浅陽一。Up to 7 out/BCLC-B 切除不能肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法の早期経験[多施設共同研究]。第 25 回日本肝がん分子標的治療研究会。福岡 (2022.1.8)
2. 關彌一貴、熊田卓、平岡淳、多田俊史、広岡昌史、狩山和也、厚川正則、谷丈二、福西新弥、田尻和人、飯島尋子、辻邦彦、高口浩一、糸林詠、石川達、越智裕紀、豊田秀徳、小川力、柿崎暁、島田紀朋、川田一仁、大濱日出子、大久保知美、新井泰央、糸川典夫、長沼篤、安田論、今井径卓、西村貴士、小泉洋平、筒井朱美、上甲康二、能祖一裕、日浅陽一。Intermediate stage における TACE 不適を予測する簡易スコアの提唱。第 25 回日本肝がん分子標的治療研究会。福岡 (2022.1.8)
3. 畑中健、熊田卓、平岡淳、多田俊史、広岡昌史、狩山和也、厚川正則、谷丈二、福西新弥、田尻和人、飯島尋子、辻邦彦、高口浩一、糸林詠、石川達、越智裕紀、豊田秀徳、小川力、柿崎暁、島田紀朋、川田一仁、大濱日出子、大久保知美、新井泰央、糸川典夫、長沼篤、安田論、今井径卓、西村貴士、小泉洋平、筒井朱美、上甲康二、能祖一裕、日浅陽一。アテゾリズマブとベバシズマブ併用療法における早期ベバシズマブ休業は進行肝癌の生存期間に影響を与える—239 例のランドマーク解析—。第 25 回日本肝がん分子標的治療研究会。福岡 (2022.1.8)
4. 田中孝明、平岡淳、和泉翔太、加藤雅也、泉本裕文、植木秀太郎、吉野武晃、北畑翔吾、相引利彦、奥平知成、川村智恵、黒田太良、山子泰加、須賀義文、二宮朋之、広岡昌史、日浅陽一。当院における切除不能肝細胞癌に対する全身薬物療法の治療成績。第 25 回日本肝がん分子標的治療研究会。福岡 (2022.1.8)
5. 多田俊史、平岡淳、熊田卓、広岡昌史、狩山和也、厚川正則、谷丈二、福西新弥、田尻和人、飯島尋子、辻邦彦、高口浩一、糸林詠、石川達、越智裕紀、豊田秀徳、小川力、柿崎暁、島田紀朋、川田一仁、大濱日出子、大久保知美、新井泰央、糸川典夫、長沼篤、安田論、今井径卓、西村貴士、小泉洋平、筒井朱美、上甲康二、能祖一裕、日浅陽一。非ウイルス性切除不能肝癌に対する全身薬物療法:レンパチニブの治療成績。第 25 回日本肝がん分子標的治療研究会。福岡 (2022.1.8)
6. 平岡淳。肝予備能維持を踏まえたベストな治療シークエンスを再考する(コーヒーブレイクセミナー)。第 25 回日本肝がん分子標的治療研究会。福岡 (2022.1.8)
7. 平岡淳。肝疾患と睡眠障害 各種質問票のバリデーション。第 10 回肝とサルコペニアを考える会。東京 (2022.1.15)
8. 平岡淳。分子標的薬剤の最適な活かし方～進行肝癌の薬物治療シークエンスを考える～。HCC Expert Cross Talk Seminar in Tochigi。宇都宮 (2022.1.18)
9. 平岡淳。免疫チェックポイント阻害剤と TKI の役割を考える。免疫療法時代に TKI を考える会。大阪 (2022.1.21)
10. 多田藤政。肝疾患に関する薬物療法。第 472 回南予薬学セミナー。宇和島・Web 開催 (2022.1.22)
11. 平岡淳。肝予備能維持を踏まえたベストな治療シークエンスを再考する。HCC Expert Cross Talk Seminar in Nagano。長野・Web 開催 (2022.1.25)
12. 平岡淳。『分子標的薬剤の最適な活かし方』～進行肝細胞癌の薬物治療シークエンスを考える～。HCC Expert Cross Talk Seminar in Omiya。大宮 (2022.2.4)
13. 平岡淳。肝炎ウイルス制御時代の肝疾患診療。Kowa Web カンファレンス。香川・Web 開催 (2022.2.16)
14. 平岡淳。免疫複合療法時代のシークエンシャル治療～サイラムザの役割～。Virtual HCC Expert Cross Talk。Web 開催 (2022.2.21)
15. 平岡淳。分子標的薬剤の最適な活かし方～進行肝細胞癌の薬物治療シークエンスを考える～。HCC Expert Cross Talk Seminar in 茨城。茨城・Web 開催 (2022.3.1)
16. 平岡淳。切除不能肝細胞癌薬物療法のエビデンスとプラクティス(イブニングセミナー)。第 130 回日本消化器病学会北海道支部例会・第 124 回日本消化器内視鏡学会北海道支部例会。札幌 (2022.3.5-6)
17. 平岡淳。肝癌免疫療法時代におけるシークエンシャル治療:カボザンチニブを含む TKI/MTA の重要性。HCC Expert Web Seminar。Web 開催 (2022.3.8)
18. 平岡淳。複合免疫療法時代における最適な治療シークエンスを考える。～肝癌薬物療法の実際を語る～。LILLY HCC INTERACTIVE WEB CONFERENCE。Web 開催 (2022.3.10)
19. 二宮朋之。当院の松山胃腸疾患研究会提示症例の検討。第 450 回宇和島胃腸疾患研究会。宇和島 (2022.3.11)
20. 平岡淳。肝がん診療の進歩～全身薬物療法について～。第 29 回奈良肝臓ミーティング。奈良 (2022.3.18)
21. 田中孝明、平岡淳、和泉翔太、加藤雅也、泉本裕文、植木秀太郎、吉野武晃、北畑翔吾、相引利彦、奥平知成、川村智恵、黒田太良、山子泰加、須賀義文、二宮朋之。造影超音波検査を施行した肝芽腫の 1 例。第 35 回日本腹部造影エコー・ドブラ診断研究会。高松 (2022.3.25)
22. 平岡淳。切除不能肝細胞癌実臨床におけるアテゾリズマブ/ベバシズマブ併用療法のインパクト。第 2 回北勢肝細胞癌治療フォーラム。三重・Web 開催 (2022.4.8)
23. 平岡淳。免疫複合療法時代におけるレンパチニブの役割～背景肝、治療ラインについて～。肝癌診療における西部会からのメッセージ。Meet the Expert in Hepatocellular carcinoma。東京 (2022.4.9)
24. 平岡淳。全身薬物療法と ALBI～CQ をみつけて臨床研究を楽しもう～。HCC clinical data review seminar。仙台・Web 開催 (2022.4.11)
25. 平岡淳。超高齢化時代におけるアブレーション治療。何歳まで積極的に RFA で加療すべきなの?。第 3 回本音でトーク!RFA WEB セミナー。Web 開催 (2022.4.14)
26. 平岡淳。免疫複合療法時代のシークエンシャル治療～サイラムザの役割～。Virtual HCC Expert Cross Talk。Web 開催 (2022.4.15)
27. 黒田太良。イメージが大切!胆管カニュレーションの「超」基本的な考え方。第 2 回 Chu-shi Young ERCP Conference。岡山 (2022.4.16)
28. 平岡淳。アテゾリズマブ+ベバシズマブ療法の実臨床データと適格基準。中外 e セミナー on Hepatocellular carcinoma。Web 開催 (2022.4.18)
29. 平岡淳。筋痙攣と睡眠障害(ランチョンセミナー26)。第 108 回日本消化器病学会総会。東京 (2022.4.21-23)
30. 平岡淳、瓦谷英人、宮明寿光。肝硬変・慢性肝疾患患者における睡眠障害に対する簡便な評価方法の検討。第 108 回日本消化器病学会総会。東京 (2022.4.21-23)
31. 田中孝明、平岡淳、二宮朋之。肝細胞癌の再発および生存における PET-CT の位置付け。第 108 回日本消化器病学会総会。東京 (2022.4.21-23)
32. 川村智恵、平岡淳、和泉翔太、加藤雅也、泉本裕文、植木秀太郎、吉野武晃、北畑翔吾、相引利彦、奥平知成、田中孝明、黒田太良、山子泰加、須賀義文、二宮朋之。当院における免疫チェックポイント阻害剤関連腸炎の臨床的特徴。第 108 回日本消化器病学会総会。東京 (2022.4.21-23)
33. 糸林詠、平岡淳、熊田卓。Intermediate stage における TACE 不適を予測する簡易スコアの提唱。第 108 回日本消化器病学会総会。東京 (2022.4.21-23)
34. 平岡淳、工藤正俊、熊田卓。非ウイルス性切除不能肝癌に対する全身薬物療法:レンパチニブの治療成績。第 108 回日本消化器病学会総会。東京 (2022.4.21-23)
35. 植木秀太郎、黒田太良、二宮朋之、平岡淳、須賀義文、山子泰加、田中孝明、川村智恵、相引利彦、奥平知成、北畑翔吾、吉野武晃、泉本裕文、加藤雅也。外科的切除が困難な膵癌患者の予後予測における ALBI スコアの有用性。第 108 回日本消化器病学会総会。東京 (2022.4.21-23)
36. 畑中健、狩山和也、平岡淳、豊田秀徳、辻邦彦、柿崎暁、長沼篤、石川達、多田俊史、熊田卓。80 歳以上の高齢肝細胞癌患者の患者背景と予後。第 108 回日本消化器病学会総会。東京 (2022.4.21-23)
37. 平岡淳。切除不能肝細胞癌治療の変化と不変。Meet the Expert on Hepatocellular Carcinoma。東京 (2022.4.25)
38. 平岡淳。切除不能肝細胞癌治療における免疫複合療法のインパクト。第 4 回 HCC-Seminar in 阪神。大阪・Web 開催 (2022.4.27)
39. 平岡淳。進行肝細胞癌に対する Systemic therapy の Real world data と Evidence。Meet the Expert on Hepatocellular Carcinoma。Web 開催 (2022.4.28)
40. 多田藤政、熊田卓、平岡淳、多田俊史、畑中健、狩山和也、豊田秀徳、

- 厚川正則、福西新弥、谷丈二、田尻和人、辻邦彦、糸林詠、石川達、越智裕紀、小川力、川田一仁、飯島尋子、日浅陽一、工藤正俊。切除不能肝細胞癌に対する1次治療としてのAtezolizumab+Bevacizumab治療とLenvatinib治療の比較。第58回日本肝臓学会。東京・Web開催(2022.5.12-13)
41. 大濱日出子、平岡淳、熊田卓、厚川正則、高口浩一、糸林詠、福西新弥、辻邦彦、石川達、豊田秀徳、畑中健、柿崎暁、島田紀朋、川田一仁、長沼篤、能祖一裕、森下朝洋、中村進一郎、日浅陽一、工藤正俊。BCLC-B/up to 7 outの切除不能肝細胞癌に対するAtezolizumab/Bevacizumab療法の早期経験。第58回日本肝臓学会。東京・Web開催(2022.5.12-13)
 42. 平岡淳、熊田卓、多田俊史、広岡昌史、狩山和也、厚川正則、谷丈二、福西新弥、田尻和人、飯島尋子、辻邦彦、高口浩一、糸林詠、石川達、越智裕紀、豊田秀徳、小川力、柿崎暁、島田紀朋、川田一仁、大濱日出子、大久保知美、新井泰央、糸川典夫、長沼篤、安田論、今井径卓、西村貴士、小泉洋平、筒井朱美、上甲康二、能祖一裕、日浅陽一。Child-Pugh AおよびBの切除不能肝細胞癌に対するatezolizumab/bevacizumab併用療法のリアルワールドデータ。第58回日本肝臓学会。東京・Web開催(2022.5.12-13)
 43. 平岡淳、熊田卓、多田俊史、広岡昌史、狩山和也、厚川正則、谷丈二、福西新弥、田尻和人、飯島尋子、辻邦彦、高口浩一、糸林詠、石川達、越智裕紀、豊田秀徳、小川力、柿崎暁、島田紀朋、川田一仁、大濱日出子、大久保知美、新井泰央、糸川典夫、長沼篤、安田論、今井径卓、西村貴士、小泉洋平、筒井朱美、上甲康二、能祖一裕、日浅陽一。切除不能肝臓におけるアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法と筋肉の関係。第58回日本肝臓学会。東京・Web開催(2022.5.12-13)
 44. 田中孝明、平岡淳、和泉翔太、加藤雅也、泉本裕文、植木秀太郎、吉野武晃、北畑翔吾、相引利彦、奥平知成、川村智恵、黒田太良、山子泰加、須賀義文、二宮朋之、廣岡昌史、日浅陽一。超高齢化社会の肝細胞癌治療に対するラジオ波焼灼療法:超高齢者における意義。第58回日本肝臓学会。東京・Web開催(2022.5.12-13)
 45. 大濱日出子、平岡淳、田中孝明、和泉翔太、加藤雅也、泉本裕文、吉野武晃、植木秀太郎、北畑翔吾、相引利彦、奥平知成、川村智恵、黒田太良、山子泰加、須賀義文、二宮朋之。初回再発時3cm3個以内の肝細胞癌に対する治療戦略。第58回日本肝臓学会。東京・Web開催(2022.5.12-13)
 46. 田中孝明、平岡淳、和泉翔太、加藤雅也、泉本裕文、植木秀太郎、吉野武晃、北畑翔吾、相引利彦、奥平知成、川村智恵、黒田太良、山子泰加、須賀義文、二宮朋之、広岡昌史、日浅陽一。当院における切除不能肝細胞癌に対する全身薬物療法の治療成績。第58回日本肝臓学会。東京・Web開催(2022.5.12-13)
 47. 平岡淳、多田藤政、田中孝明、大濱日出子、二宮朋之、小泉洋平、広岡昌史、日浅陽一。肝炎ウイルス制御時代の課題:肝細胞癌根治術後の予後改善に向けてサルコペニア進展阻止を目指して積極的に介入すべき症例とは?。第58回日本肝臓学会。東京・Web開催(2022.5.12-13)
 48. 平岡淳。Intermediate~Advanced Stage肝細胞がんの治療戦略一肝予備能を意識して(ランチョンセミナー)。第58回日本肝臓学会。東京・Web開催(2022.5.12-13)
 49. 平岡淳。免疫複合療法のインパクト:BCLC stage ver.2022からみた治療戦略と今後の課題。第2回福岡肝細胞がんセミナー。福岡(2022.5.13)
 50. 平岡淳。C型肝炎と肝臓。Liver Science Forum in Ehime。松山・Web開催(2022.5.16)
 51. 田中孝明、平岡淳、野間真依子、和泉翔太、加藤雅也、植木秀太郎、北畑翔吾、川村智恵、黒田太良、二宮朋之。造影超音波検査を施行した肝芽腫の1例。第95回日本超音波医学学会学術集会。名古屋(2022.5.20-22)
 52. 北畑翔吾。当院におけるIBD診療の現状と潰瘍性大腸炎患者の臨床的寛解に対するLRGの診断能について。IBD SUMMIT in EHIME。松山(2022.5.24)
 53. 平岡淳。サルコペニア合併肝硬変患者に対して運動療法はどこまで必要か?(特別企画3 Debate Colosseum on Clinical Questions 2 肝硬変)。第58回日本肝臓学会総会。横浜・Web開催(2022.6.2-3)
 54. 平岡淳、田中孝明、日浅陽一。サルコペニア進展阻止を目指して積極的に栄養介入すべき症例とは。第58回日本肝臓学会総会。横浜・Web開催(2022.6.2-3)
 55. 華井竜徳、平岡淳、白木亮。栄養・運動・抗加齢 SARC-Fは慢性肝疾患におけるサルコペニアのスクリーニングとして有用である[多施設共同研究]。第58回日本肝臓学会総会。横浜・Web開催(2022.6.2-3)
 56. 多田俊史、熊田卓、平岡淳。RELPEC study group。肝細胞癌に対するアテゾリズマブ/ベバシズマブ併用療法の早期予後予測マーカーとしての好中球・リンパ球比の有用性。第58回日本肝臓学会総会。横浜・Web開催(2022.6.2-3)
 57. 井戸田聡、田中孝明、加藤雅也、平岡淳、寺尾美紗、松岡順子、和泉翔太、泉本裕文、吉野武晃、植木秀太郎、鶴田美帆、北畑翔吾、奥平知成、相引利彦、川村智恵、黒田太良、山子泰加、須賀義文、二宮朋之、日浅陽一。生前に腫瘍生検で診断しえた肝血管肉腫の1例。第58回日本肝臓学会総会。横浜・Web開催(2022.6.2-3)
 58. 加藤雅也、平岡淳、田中孝明、和泉翔太、泉本裕文、吉野武晃、植木秀太郎、鶴田美帆、北畑翔吾、奥平知成、相引利彦、川村智恵、黒田太良、山子泰加、須賀義文、二宮朋之、日浅陽一。根治術を施行したC型肝炎ウイルス関連肝細胞癌におけるDAA治療療場前後の変化。第58回日本肝臓学会総会。横浜・Web開催(2022.6.2-3)
 59. 畑中健、柿崎暁、平岡淳、多田俊史、廣岡昌史、狩山和也、谷丈二、厚川正則、高口浩一、糸林詠、福西新弥、辻邦彦、石川達、田尻和人、越智裕紀、豊田秀徳、小川力、長沼篤、熊田卓。アテゾリズマブとベバシズマブ併用療法におけるCRAFITY scoreの有用性。第58回日本肝臓学会総会。横浜・Web開催(2022.6.2-3)
 60. 田中孝明、平岡淳、日浅陽一、和泉翔太、加藤雅也、泉本裕文、北畑翔吾、相引利彦、奥平知成、川村智恵、黒田太良、山子泰加、廣岡昌史。超高齢化社会の肝細胞癌治療に対するラジオ波焼灼療法 超高齢者における意義。第58回日本肝臓学会総会。横浜・Web開催(2022.6.2-3)
 61. 宮明寿光、平岡淳、瓦谷英人、魚嶋晴紀、平松憲、華井竜徳、中尾一彦。慢性肝疾患患者における睡眠障害の成因 肝疾患合併症による分類。第58回日本肝臓学会総会。横浜・Web開催(2022.6.2-3)
 62. 黒田太良、植木秀太郎、須賀義文、平岡淳、二宮朋之。当院における超音波内視鏡下胆道ドレナージ術導入の有効性と安全性。第117回日本消化器病学会四国支部例会・第128回日本消化器内視鏡学会四国支部例会。松山(2022.6.18-19)
 63. 柳原映美、黒田太良、福西芳子、加藤佳夏子、加藤雅也、實藤洋伸、泉本裕文、吉野武晃、植木秀太郎、北畑翔吾、川村智恵、大濱日出子、須賀義文、多田藤政、平岡淳、二宮朋之。次世代経口胆道鏡で出血源を確認し得た胆道出血の1例。第117回日本消化器病学会四国支部例会・第128回日本消化器内視鏡学会四国支部例会。松山(2022.6.18-19)
 64. 北畑翔吾、須賀義文、平岡淳、二宮朋之。潰瘍性大腸炎患者の臨床的寛解に対するLRGの診断能 糞便マーカーとの比較。第117回日本消化器病学会四国支部例会・第128回日本消化器内視鏡学会四国支部例会。松山(2022.6.18-19)
 65. 加藤佳夏子、川村智恵、和泉翔太、加藤雅也、泉本裕文、植木秀太郎、北畑翔吾、相引利彦、奥平知成、黒田太良、山子泰加、須賀義文、平岡淳、二宮朋之。内視鏡像で虚性腸炎との鑑別を要したcollagenous colitisの一例。第117回日本消化器病学会四国支部例会・第128回日本消化器内視鏡学会四国支部例会。松山(2022.6.18-19)
 66. 平岡淳、田中孝明、和泉翔太、加藤雅也、泉本裕文、吉野武晃、植木秀太郎、北畑翔吾、相引利彦、奥平知成、川村智恵、黒田太良、山子泰加、須賀義文、二宮朋之。当院における切除不能肝臓に対するアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法の現状。第117回日本消化器病学会四国支部例会・第128回日本消化器内視鏡学会四国支部例会。松山(2022.6.18-19)
 67. 加藤雅也、平岡淳、田中孝明、和泉翔太、泉本裕文、吉野武晃、植木秀太郎、北畑翔吾、奥平知成、相引利彦、川村智恵、黒田太良、山子泰加、須賀義文、二宮朋之、広岡昌史、日浅陽一。Atezolizumab/Bevacizumab併用療法中に非腫瘍部から腹腔内血腫を来した1例。第117回日本消化器病学会四国支部例会・第128回日本消化器内視鏡学会四国支部例会。松山(2022.6.18-19)
 68. 福西芳子、須賀義文、加藤雅也、泉本裕文、植木秀太郎、鶴田美帆、吉野武晃、北畑翔吾、川村智恵、黒田太良、宮田英樹、平岡淳、二宮朋之、杉田敦郎。成人腸重積を合併した回腸炎症性線維性ポリープの2例。第117回日本消化器病学会四国支部例会・第128回日本消化器内視鏡学会四国支部例会。松山(2022.6.18-19)
 69. 植木秀太郎、黒田太良、前田智治。膝腫瘍の一例。日本消化器病学会四国支部第22回専門医セミナー。松山(2022.6.19)
 70. 須賀義文。Bridge to surgery(BTS)としての大腸ステント留置術の有効性の検討。大腸ステントWebセミナー「大腸ステントBTS最新Topics」閉塞性大腸癌BTSの現状と未来。Web開催(2022.6.23)
 71. 北畑翔吾、古川慎哉、三宅映己、白石佳奈、丹下和洋、橋下悠、八木専、二宮朋之、鈴木誠祐、柴田直純、村上英広、大橋勝久、富田英臣、山本安則、竹下英次、池田宜央、日浅陽一。潰瘍性大腸炎における粘膜治療とRestless leg syndromeの関連。愛媛県UCフォーラム。松山(2022.6.24)
 72. 多田藤政、平岡淳、大濱日出子、實藤洋伸、泉本裕文、吉野武晃、植木秀太郎、北畑翔吾、川村智恵、黒田太良、須賀義文、宮田英樹、二宮朋之、日浅陽一。糖尿病を基礎疾患として発症した非B非C・非アルコール性肝臓の特徴。第8回肝臓と糖尿病・代謝研究会。奈良(2022.6.25)

73. 平岡淳. 肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法の現状と課題(ランチョンセミナー). 第 26 回肝がん分子標的治療研究会. 軽井沢 (2022.6.25)
74. 大濱日出子、平岡淳、熊田卓、厚川正則、高口浩一、糸林詠、福西新弥、辻邦彦、石川達、豊田秀徳、畑中健、柿崎暁、島田紀朋、川田一仁、長沼篤、能祖一裕、森下朝洋、中村進一郎、日浅陽一、工藤正俊. Child-Pugh A と比較した Child-Pugh B 切除不能肝細胞癌に対するアテゾリズマブ/ベバシズマブ療法の治療成績. 第 26 回日本肝がん分子標的治療研究会. 軽井沢 (2022.6.25)
75. 平岡淳、熊田卓、多田俊史、広岡昌史、狩山和也、厚川正則、谷丈二、福西新弥、田尻和人、飯島尋子、辻邦彦、高口浩一、糸林詠、石川達、越智裕紀、豊田秀徳、小川力、柿崎暁、島田紀朋、川田一仁、大濱日出子、大久保知美、新井泰央、糸川典夫、長沼篤、安田論、今井恒卓、西村貴士、小泉洋平、筒井朱美、上甲康二、能祖一裕、日浅陽一. 切除不能肝臓におけるアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法と筋肉の関係. 第 26 回日本肝がん分子標的治療研究会. 軽井沢 (2022.6.25)
76. 平岡淳、熊田卓、多田俊史、広岡昌史、狩山和也、厚川正則、谷丈二、福西新弥、田尻和人、飯島尋子、辻邦彦、高口浩一、糸林詠、石川達、越智裕紀、豊田秀徳、小川力、柿崎暁、島田紀朋、川田一仁、大濱日出子、大久保知美、新井泰央、糸川典夫、長沼篤、安田論、今井恒卓、西村貴士、小泉洋平、筒井朱美、上甲康二、能祖一裕、日浅陽一. 切除不能肝細胞癌に対する 1 次治療比較—アテゾリズマブ/ベバシズマブ vs. レンパチニブ. 第 26 回日本肝がん分子標的治療研究会. 軽井沢 (2022.6.25)
77. 加藤雅也、平岡淳、田中孝明、和泉翔太、泉本裕文、吉野武晃、植木秀太郎、北畑翔吾、奥平知成、相引利彦、川村智恵、黒田太良、山子泰加、須賀義文、二宮朋之、広岡昌史、日浅陽一. Atezolizumab/Bevacizumab 併用療法中に非腫瘍部から腹腔内血腫を来した 1 例. 第 26 回日本肝がん分子標的治療研究会. 軽井沢 (2022.6.25)
78. 平岡淳. 免疫複合療法時代・全身薬物療法と TACE を考える. テセントリク+アバスタチン適応拡大 1 周年記念講演会. 神戸・Web 開催 (2022.6.30)
79. 平岡淳. 肝細胞がん治療における肝予備能維持の重要性. 第 1 回 Hepatocellular carcinoma Summit. Web 開催 (2022.7.2)
80. 平岡淳. 肝癌・免疫複合療法の臨床像. 肝細胞癌 Web セミナー. 京都・Web 開催 (2022.7.8)
81. 平岡淳. C 型肝炎排除時代: 肝発癌と残された諸問題. 阿波肝疾患フォーラム. 徳島 (2022.7.15)
82. 平岡淳. 肝癌免疫療法時代におけるシークエンシャル治療: カボザチニブを含む TKI/MTA の重要性. 肝細胞癌 EXPERT WEB SEMINAR. 神戸 (2022.7.20)
83. 黒田太良. 当院における急性胆嚢炎ドレナージ法選択の現状と課題. 愛媛県の胆膵疾患を考える会. 松山 (2022.7.22)
84. 平岡淳. 肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法の現状と課題. 松山肝腫瘍研究会. 松山 (2022.7.30)
85. 平岡淳. 肝癌治療に影響する肝予備能・サルコペニア. LENVIMA-HCC Web Seminar in 愛媛. 松山・Web 開催 (2022.8.17)
86. Hiraoka Atsushi. Clinical features of chronic liver disease patients in Japan related to alcohol use-nationwide examination using AUDIT. Otsuka International Liver Forum. Nara (2022.8.20)
87. 平岡淳. 薬物治療と全身状態の関連性～肝予備能・副作用・栄養管理の観点から～. Medical HCC Webinar. 東京 (2022.8.29)
88. 平岡淳. 肝がん診療 免疫療法新時代～肝疾患診療における変化と不変～. 鹿児島肝疾患診療連携セミナー. 鹿児島・Web 開催 (2022.8.31)
89. Hiraoka Atsushi. Prognostic factors after curative treatments for Milan criteria hepatocellular carcinoma in Child-Pugh A: When should we consider nutritional intervention?. APASL Oncology 2022. Takamatsu (2022.9.1-3)
90. FUKUNISHI Yoshiko, HIRAOKA Atsushi, OHAMA Hideko, TADA Fujimasa, NINOMIYA Tomoyuki, HIASA Yoichi. A clinical issue in aging society: Up to What Age Can We Consider Performing Ablation?. APASL Oncology 2022. Takamatsu (2022.9.1-3)
91. Takanori Ito, Atsushi Hiraoka, Takashi Kumada. A Predictive Marker for Intermediate-Stage Hepatocellular Carcinoma Patients with Transarterial Chemoembolization Refractory. APASL Oncology 2022. Takamatsu (2022.9.1-3)
92. Takumi Kawaguchi, Shigeo Shimose, Atsushi Hiraoka, Andrea Casadei-Gardini, Tsubasa Tsutsumi, Dan Nakano, Hideki Iwamoto, Fujimasa Tada, Margherita Rimini, Hideko Ohama, Valentina Burgio, Takashi Niizeki, Hiroyuki Suzuki, Etsuko Moriyama, Tomotake Shirono, Yu Noda, Naoki Kamachi, Masahito Nakano, Ryoko Kuromatsu, Hironori Koga. Beneficial Effects of MAFLD on Survival in Patients Non-viral HCC Treated with Lenvatinib: An International Study. APASL Oncology 2022. Takamatsu (2022.9.1-3)
93. Fujimasa Tada, Atsushi Hiraoka, Hideko Ohama, Kanako Kato, Yoshiko Fukunishi, Emi Yanagihara, Masaya Kato, Hirofumi Izumoto, Hidetaro Ueki, Takeaki Yoshino, Shogo Kitahata, Chie Kawamura, Taira Kuroda, Yoshifumi Suga, Hideki Miyata, Tomoyuki Ninomiya, Yoichi Hiasa. Predictive usefulness of PET-CT for recurrence and overall survival of hepatocellular carcinoma patients. APASL Oncology 2022. Takamatsu (2022.9.1-3)
94. OHAMA Hideko, HIRAOKA Atsushi, KATO Kanako, FUKUNISHI Yoshiko, YANAGIHARA Eimi, KATO Masaya, SANETO Hironobu, IZUMOTO Hirofumi, YOSHINO Takeaki, UEKI Hidetaro, KITAHATA Shogo, KAWAMURA Tomoe, KURODA Taira, SUGA Yoshifumi, TADA Fujimasa, MIYATA Hideki, NINOMIYA Tomoyuki, HIASA Yoichi. Which of the curative treatments is appropriate for initial recurrence within early-stage hepatocellular carcinoma after curative treatments: resection or ablation?. APASL Oncology 2022. Takamatsu (2022.9.1-3)
95. Hiraoka Atsushi. Total therapeutic management of liver disease(Morning Seminar). APASL Oncology 2022. Takamatsu (2022.9.1-3)
96. 平岡淳. 腹部超音波検査・消化器病診療の現場を CQ を見つけて楽しむ～systemic therapy の real world data と evidence を含めて～(ランチョンセミナー). 日本超音波医学会第 58 回中国地方学術集会. 広島 (2022.9.3)
97. 糸川典夫、厚川正則、平岡淳、野崎昭人、石川達、岩切勝彦. 肝性浮腫に対するトルパブタンの至適導入タイミングと長期予後に寄与する因子の検討. 第 29 回日本門脈圧亢進症学会総会. 大阪 (2022.9.8-9)
98. 平岡淳、大濱日出子、多田藤政、實藤洋伸、泉本裕文、吉野武晃、植木秀太郎、北畑翔吾、川村智恵、黒田太良、須賀義文、宮田英樹、二宮朋之、日浅陽一. 門脈圧亢進症とサルコペニア～栄養・運動療法を含めて～門脈圧亢進症と筋肉量、BTR からみた Child-Pugh A の初発ミラノクライテリア内肝癌根治術後の予後因子 栄養介入のタイミングとは?. 第 29 回日本門脈圧亢進症学会総会. 大阪 (2022.9.8-9)
99. 須賀義文. 進化を続ける消化管がんの内視鏡治療.おなかの癌治療最前線. 第 95 回日本消化器病学会四国支部市民公開講座. 松山 (2022.9.10)
100. 平岡淳. 高齢化社会の切除不能肝細胞癌治療・BCLC-B と QOL. 会津若松医師会共催講演会. 会津若松・Web 開催 (2022.9.13)
101. 平岡淳. 肝硬変と筋肉・カルニチン欠乏について. 第 24 回東葛・城東肝疾患研究会. 東京・Web 開催 (2022.9.14)
102. 平岡淳、野間章裕、大濱日出子、多田藤政、北畑翔吾、越智麻理絵、二宮朋之、小泉洋平、廣岡昌史、日浅陽一. 肝悪性リンパ腫の腹部超音波・造影超音波検査所見の特徴. 第 49 回超音波ドブラ・新技術研究会. 旭川 (2022.9.17)
103. 多田藤政、平岡淳、大濱日出子、野間章裕、越智麻理絵、柳原映美、加藤雅也、二宮朋之、小泉洋平、廣岡昌史、日浅陽一. 造影超音波を施行した肝血管肉腫の 1 例. 第 49 回超音波ドブラ・新技術研究会. 旭川 (2022.9.17)
104. 柳原映美、平岡淳、多田藤政、大濱日出子、野間章裕、越智麻理絵、二宮朋之、小泉洋平、廣岡昌史、日浅陽一. 腹部カラードブラ超音波検査が診断に有用であった Meckel 憩室出血の 1 例. 第 49 回超音波ドブラ・新技術研究会. 旭川 (2022.9.17)
105. 大濱日出子、平岡淳、多田藤政、野間章裕、越智麻理絵、加藤雅也、福西芳子、柳原映美、加藤雅也、實藤洋伸、泉本裕文、北畑翔吾、植木秀太郎、吉野武晃、川村智恵、黒田太良、須賀義文、宮田英樹、二宮朋之. ソナゾイド造影超音波を施行した肝芽腫の一例. 第 49 回超音波ドブラ・新技術研究会. 旭川 (2022.9.17)
106. 實藤洋伸、宮田英樹、植木秀太郎、黒田太良、渡邊常太、大谷広美、前田智治. 限局性膝萎縮を契機に発見された腓上皮内癌の 1 例. 第 76 回日本消化器画像診断研究会. 新潟 (2022.9.23-24)
107. 北畑翔吾. 病院から県全体に広がる愛媛県立中央病院 IBD センターの取り組み. IBD 診療を考える会. 高知・Web 開催 (2022.9.29)
108. 平岡淳. 切除不能肝癌診療の現在地～免疫治療時代のレンパチニブに期待される役割～. 第 25 回北海道肝癌治療研究会. 札幌 (2022.10.8)
109. 平岡淳. HCV・DAA 治療時代の臨床上の課題. エブクルーサ配合錠適応追加記念 Web 講演会. 松山・Web 開催 (2022.10.13)
110. 黒田太良. 胆嚢ドレナージ戦略とコツ(ランチョンセミナー). 第 58 回日本胆道学会胆道学会学術集会. 横浜 (2022.10.13-14)
111. 野間章裕、平岡淳、大濱日出子、多田藤政、北畑翔吾、越智麻理絵、二宮朋之、小泉洋平、廣岡昌史、日浅陽一. 肝悪性リンパ腫における腹部超音波・造影超音波検査所見: 連続肝悪性リンパ腫の検討. 第 32 回日本超音波医学会四国地方学術集会. 徳島 (2022.10.15)
112. 大濱日出子、平岡淳、多田藤政、柳原映美、野間章裕、越智麻理絵、二宮朋之、小泉洋平、廣岡昌史、日浅陽一. 腹部超音波検査が診断に有

用であった Meckel 憩室出血の 1 例. 第 32 回日本超音波医学会四国地方学術集会. 徳島 (2022.10.15)

113. 北畑翔吾. IBD 診療 Up to date—バイオマーカーを中心に—. 香川県消化器談話会. 香川・Web 開催 (2022.10.20)
114. 大濱日出子, 平岡淳. 初回根治術後の再発時に 3cm3 個以内の肝細胞癌への治療戦略. JDDW2022. 福岡 (2022.10.27-30)
115. 多田俊史, 平岡淳, 熊田卓. 肝癌診療における新たな治療戦略 アテゾリズマブ/ベバシズマブ療法例における新規 inflammation and liver function-based prognostic system の有用性. JDDW2022. 福岡 (2022.10.27-30)
116. 平岡淳, 大濱日出子, 熊田卓. 切除不能肝細胞癌に対する 1 次治療比較 アテゾリズマブ/ベバシズマブ vs レンパチニブ. JDDW2022. 福岡 (2022.10.27-30)
117. 多田俊史, 平岡淳, 熊田卓. 高齢肝細胞癌患者におけるアテゾリズマブ/ベバシズマブ療法の有効性と安全性の検討. JDDW2022. 福岡 (2022.10.27-30)
118. 大久保知美, 厚川正則, 岩佐元雄, 平岡淳, 魚嶋晴紀, 松浦健太郎, 河野惟道, 吉田祐士, 新井泰央, 葉山惟信, 糸川典夫, 近藤千紗, 岩切勝彦. 肝硬変患者における二次性サルコペニア診断の血清 Vitamin D 濃度測定の有効性. JDDW2022. 福岡 (2022.10.27-30)
119. 北畑翔吾, 須賀義文, 二宮朋之. 潰瘍性大腸炎の病型が LRG の疾患活動性予測性能に与える影響. JDDW2022. 福岡 (2022.10.27-30)
120. 泉本裕文. 大腸 ESD における送液機能付き新規高周波ナイフの有用性・安全性についての検討. JDDW2022. 福岡 (2022.10.27-30)
121. 北畑翔吾. 病院から県全体に広がる愛媛県立中央病院 IBD センターの取り組み. 第 2 回 IBD のトータルサポートを考える会. 松山・Web 開催 (2022.11.4)
122. 平岡淳. 複合免疫療法時代のシークエンシャル治療～サイラムザの活かし方～. Virtual HCC Expert Cross Talk①. Web 開催 (2022.11.7)
123. 平岡淳. 肝臓専門外来患者のアルコール摂取状況～AUDITを用いた飲酒摂取状況の評価～. Otsuka Liver Forum 2022. 東京 (2022.11.12)
124. 平岡淳. 複合免疫療法時代のシークエンシャル治療～サイラムザの活かし方～. Virtual HCC Expert Cross Talk②. Web 開催 (2022.11.17)
125. 加藤雅也, 宮田英樹, 黒田太良, 植木秀太郎, 加藤佳夏子, 福西芳子, 柳原映美, 實藤洋伸, 泉本裕文, 吉野武晃, 北畑翔吾, 川村智恵, 大濱日出子, 須賀義文, 多田藤政, 平岡淳, 二宮朋之. 臍転移を合併した胆嚢癌の 2 例. 第 118 回消化器病学会四国支部例会. 徳島 (2022.11.19-20)
126. 平岡淳. アテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法: 患者選択・マネジメント・治療効果. HCC 適正使用カンファレンス. 東京・Web 開催 (2022.11.21)
127. 須賀義文. 僕と妻のワークとライフ・14 年. 第 13 回研修医・医学生との懇談会. 東温 (2022.11.24)
128. 平岡淳, 大濱日出子, 多田藤政. 慢性肝疾患患者において効率的に積極的に栄養介入につなげる簡易な代替栄養指標の提言. 第 44 回日本肝臓学会東部会. 仙台 (2022.11.25-26)
129. 多田藤政, 平岡淳, 大濱日出子. 当院における AUDIT を用いた慢性肝疾患患者のアルコール使用の臨床的特徴. 第 44 回日本肝臓学会東部会. 仙台 (2022.11.25-26)
130. 大濱日出子, 平岡淳, 多田藤政, 加藤佳夏子, 福西芳子, 加藤雅也, 實藤洋伸, 泉本裕文, 北畑翔吾, 川村智恵, 黒田太良, 日浅陽一. 肝細胞癌患者の予後予測における geriatric nutritional risk index の有用性. 第 44 回日本肝臓学会東部会. 仙台 (2022.11.25-26)
131. 實藤洋伸, 平岡淳, 多田藤政, 大濱日出子, 加藤佳夏子, 福西芳子, 加藤雅也, 泉本裕文, 北畑翔吾, 川村智恵, 黒田太良, 広岡昌史, 日浅陽一. 当院における後期高齢肝細胞癌患者の実態と治療の現状. 第 44 回日本肝臓学会東部会. 仙台 (2022.11.25-26)
132. 加藤佳夏子, 平岡淳, 大濱日出子, 多田藤政, 福西芳子, 加藤雅也, 實藤洋伸, 泉本裕文, 北畑翔吾, 川村智恵, 黒田太良, 廣岡昌史, 日浅陽一. 非ウイルス性肝癌増加時代の肝細胞癌関連腫瘍マーカー上昇の特徴についての検討. 第 44 回日本肝臓学会東部会. 仙台 (2022.11.25-26)
133. 平岡淳. 薬物治療と全身状態の関連性～肝予備能・副作用・栄養管理の観点から～. Medical HCC Webinar. 福岡 (2022.11.28)
134. 北畑翔吾. 潰瘍性大腸炎診療 Up to date—基本治療薬から新薬まで—. IBD workshop in Ehime 2022. 松山 (2022.11.30)
135. 泉本裕文. 胃癌治療における Nivolumab 使用時の irAE マネジメントについて. 胃癌 Hybrid Web Seminar in Ehime. 松山 (2022.12.13)
136. 北畑翔吾, 山本安則, 池田宜央, 阿部雅則, 日浅陽一. 原発性胆汁性胆管炎患者の回腸粘膜関連細菌叢と病態との関連. 第 7 回 Gastro-plus. 東京 (2022.12.17)
137. 北畑翔吾. 炎症性腸疾患マネジメント—患者さんの病状を把握するために外来でやるべきこと—. 宇和島胃腸疾患研究会. 宇和島 (2022.12.19)

(2) 論文・著書

1. Hiraoka A, Kumada T, Tada T, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Hatanaka T, Ohama H, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Imai M, Koizumi Y, Nakamura S, Joko K, Iijima H, Hiasa Y, Kudo M. Atezolizumab plus bevacizumab treatment for unresectable hepatocellular carcinoma: Early clinical experience. *Cancer Rep (Hoboken)* 5(2). e1464 (2022.2)
2. Kaibori M, Hiraoka A, Matsui K, Matsushima H, Kosaka H, Yamamoto H, Yamaguchi T, Yoshida K, Sekimoto M. Predicting Complications following Surgical Resection of Hepatocellular Carcinoma Using Newly Developed Neo-Glasgow Prognostic Score with ALBI Grade: Comparison of Open and Laparoscopic Surgery Cases. *Cancers (Basel)* 14(6). 1402 (2022.3.9)
3. 平岡淳, 熊田卓. Atezolizumab+Bevacizumab 併用療法が登場して薬物療法はどう変わったか?. *腫瘍内科* 29(3). 1-7 (2022.3.28)
4. 平岡淳. 第 4 章 CELESTIAL 試験の総括とさまざまなサブ解析の結果から迫るカボザンチニブ. *カボザンチニブによる肝細胞癌治療*. 111-114 (2022.3.31)
5. 平岡淳. 第 6 章 日常臨床下におけるカボザンチニブの治療成績—ソラフェニブ・レゴラフェニブ・レンパチニブ sequential 治療 failure 後にカボザンチニブ治療が有効であった切除不能肝細胞癌の 1 症例. *カボザンチニブによる肝細胞癌治療*. 214-217 (2022.3.31)
6. 長瀬映美, 黒田太良, 和泉翔太, 加藤雅也, 泉本裕文, 吉野武晃, 植木秀太郎, 北畑翔吾, 相引利彦, 奥平知成, 田中孝明, 川村智恵, 山子泰加, 須賀義文, 平岡淳, 二宮朋之. 膝頭部癌の化学療法中に肝転移破裂を来した 1 例. *愛媛県立病院学会誌* 56 巻. 53-56 (2022.3)
7. 北村拓也, 黒田太良, 和泉翔太, 加藤雅也, 泉本裕文, 吉野武晃, 植木秀太郎, 北畑翔吾, 相引利彦, 奥平知成, 田中孝明, 川村智恵, 山子泰加, 須賀義文, 平岡淳, 二宮朋之. 急性膵炎を契機に Wirsungocoele と診断した 1 例. *愛媛県立病院学会誌* 56 巻. 49-52 (2022.3)
8. 伊賀上真有, 吉野武晃, 宮田英樹, 岩崎竜一朗, 加藤雅也, 丸井香織, 村上大晟, 大西慶, 植木秀太郎, 鶴田美帆, 奥平知成, 相引利彦, 黒田太良, 須賀義文, 森健一郎, 平岡淳, 二宮朋之, 道堯浩二郎. 急性膵炎を契機に診断された TS1 膵癌の 1 例. *愛媛県立病院学会誌* 56 巻. 43-47 (2022.3)
9. Hiraoka A, Kumada T, Tada T, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Hatanaka T, Kakizaki S, Shimada N, Kawata K, Naganuma A, Tanaka T, Ohama H, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Imai M, Koizumi Y, Nakamura S, Joko K, Iijima H, Hiasa Y, Kudo M. Early experience of atezolizumab plus bevacizumab treatment for unresectable hepatocellular carcinoma BCLC-B stage patients classified as beyond up to seven criteria-Multicenter analysis. *Hepatol Res* 52(3). 308-316 (2022.3)
10. Kaibori M, Hiraoka A, Iida H, Komeda K, Hirokawa F, Ueno M, Kosaka H, Matsui K, Sekimoto M. Comparison of the New Neo-Glasgow Prognostic Score Based on the Albumin-Bilirubin Grade with Currently Used Nutritional Indices for Prognostic Prediction following Surgical Resection of Hepatocellular Carcinoma: A Multicenter Retrospective Study in Japan. *Cancers(Basel)* 14(9). 2091 (2022.4.22)
11. 北畑翔吾, 山本安則, 日浅陽一. 原発性胆汁性胆管炎の回腸粘膜関連細菌叢と病態. *PROGRESS IN MEDICINE* 42(3). 239-242 (2022.4)
12. Toyoda H, Yasuda S, Moriya A, Itobayashi E, Uojima H, Watanabe T, Atsukawa M, Arai T, Ishikawa T, Mikami S, Hiraoka A, Tsuji K, Oikawa T, Tsubota A, Nozaki A, Chuma M, Abe H, Shima T, Kumada T, Tanaka J. Misunderstanding of hepatitis C virus(HCV) infection status by non-specialized medical doctors in patients who achieved sustained virologic response to anti-HCV therapy. *J Infect Chemother* 28(9). 1231-1234 (2022.5.6)
13. Kawaratan H, Miyaaki H, Hiraoka A, Nakao K, Hiasa Y, Yoshiji H, Okita K, Koike K. The Usefulness of the Athens Insomnia Scale for Evaluating Sleep Disturbance in Patients with Chronic Liver Disease Comparing with Pittsburgh Sleep Quality Index and Epworth Sleepiness Scale. *Medicina(Kaunas)* 58(6). 741 (2022.5.30)
14. Tanaka T, Hiraoka A, Tada T, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Hatanaka T, Kakizaki S, Shimada N, Kawata K, Naganuma A, Kosaka H, Ohama H, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai

- T, Imai M, Koizumi Y, Nakamura S, Joko K, Iijima H, Kaibori M, Hiasa Y, Kudo M, Kumada T. Therapeutic efficacy of atezolizumab plus bevacizumab treatment for unresectable hepatocellular carcinoma in patients with Child-Pugh class A or B liver function in real-world clinical practice. *Hepatology Res* 52(9). 773-783 (2022.6.11)
15. Toyoda H, Kariyama K, Hiraoka A, Tsuji K, Ishikawa T, Hatanaka T, Naganuma A, Yasuda S, Nouse K, Kakizaki S, Kumada T. Improved survival of viral hepatocellular carcinoma but not non-viral hepatocellular carcinoma from 2000 to 2020: A multi-centre cohort study of 6007 patients from high-volume academic centres in Japan. *Aliment Pharmacol Ther* 56(4). 694-701 (2022.6.16)
 16. Shogo Kitakata, Shinya Furukawa, Teruki Miyake, Kana Shiraishi, Kazuhiro Tange, Yu Hashimoto, Sen Yagi, Tomoyuki Ninomiya, Seiyuu Suzuki, Naozumi Shibata, Hidehiro Murakami, Katsuhisa Ohashi, Hideomi Tomida, Yasunori Yamamoto, Eiji Takeshita, Yoshio Ikeda, Yoichi Hiasa. Association between clinical outcomes and restless legs syndrome in Japanese patients with ulcerative colitis. *J Sleep Res* 31(6). e13691 (2022.7.19)
 17. 畑中健、平岡淳、多田俊史、広岡昌史、狩山和也、谷丈二、厚川正則、高口浩一、糸林詠、福西新弥、辻邦彦、石川達、田尻和人、越智裕紀、豊田秀徳、小川力、長沼篤、熊田卓、柿崎晁。アテゾリズマブとベバシズマブ併用療法における早期ベバシズマブ休業は進行肝癌の治療成績に影響を与える 239 例のランドマーク解析。 *肝胆膵* 85(1). 141-143 (2022.7.28)
 18. 平岡淳。新しい診断・薬の情報:BCLC 2022 の紹介。 *肝臓クリニカルアップデート* 8(1). 78-81 (2022.7.31)
 19. Tada T, Kumada T, Hiraoka A, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Hatanaka T, Kakizaki S, Shimada N, Kawata K, Tanaka T, Ohama H, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Imai M, Naganuma A, Aoki T, Koizumi Y, Nakamura S, Joko K, Hiasa Y, Kudo M. Glasgow prognostic score predicts survival in patients with unresectable hepatocellular carcinoma treated with lenvatinib: a multicenter analysis. *Gastroenterol Hepatol* 34(8). 857-864 (2022.8.1)
 20. 閻彌一貴、平岡淳、熊田卓。Intermediate-stage における TACE 不適を予測する簡易スコアの提唱。 *肝胆膵* 85(2). 266-268 (2022.8.28)
 21. Kariyama K, Hiraoka A, Kumada T, Yasuda S, Toyoda H, Tsuji K, Hatanaka T, Kakizaki S, Naganuma A, Tada T, Takaguchi K, Itobayashi E, Ishikawa T, Shimada N, Tsutsui A, Nagano T, Imai M, Nakamura S, Wakuta A, Miyake N, Shiota S, Nouse K. Chronological change in serum albumin as a prognostic factor in patients with hepatocellular carcinoma treated with lenvatinib: proposal of albumin simplified grading based on the modified albumin-bilirubin score (ALBS grade). *J Gastroenterol* 57(8). 581-586 (2022.8)
 22. Hiraoka A, Kumada T, Tada T, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Hatanaka T, Kakizaki S, Shimada N, Kawata K, Naganuma A, Kosaka H, Ohama H, Tada F, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Imai M, Koizumi Y, Nakamura S, Iijima H, Kaibori M, Hiasa Y, Kudo M. Clinical Predictor of Urinary Protein as Adverse Event Associated with Atezolizumab plus Bevacizumab Treatment for Unresectable Hepatocellular Carcinoma. *Oncology* 100(12). 645-654 (2022.9.14)
 23. 平岡淳、大濱日出子、多田藤政。【進化する肝細胞癌の薬物療法:2022 update】免疫療法後の二次治療としての分子標的治療薬の意義 アテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法後のレンパチニブ。 *肝胆膵* 85(3). 429-433 (2022.9.28)
 24. Kaibori M, Yoshii K, Matsui K, Matsushima H, Kosaka H, Yamamoto H, Aoi K, Yamaguchi T, Yoshida K, Hatanaka T, Hiraoka A, Tada T, Kumada T, Sekimoto M. Modified Albumin-Bilirubin Grade and Alpha-Fetoprotein Score (mALF Score) for Predicting the Prognosis of Hepatocellular Carcinoma after Hepatectomy. *Cancers (Basel)* 14(21). 5292 (2022.10.27)
 25. Shogo Kitahata, Shinya Furukawa, Teruki Miyake, Kana Shiraishi, Kazuhiro Tange, Yu Hashimoto, Sen Yagi, Tomoyuki Ninomiya, Seiyuu Suzuki, Naozumi Shibata, Hidehiro Murakami, Katsuhisa Ohashi, Hideomi Tomida, Yasunori Yamamoto, Eiji Takeshita, Yoshio Ikeda, Yoichi Hiasa. Association between socioeconomic status and mucosal healing in Japanese patients with ulcerative colitis. *BMJ Open Gastroenterol* 9(1). e001000 (2022.10)
 26. Ohama H, Hiraoka A, Tada F, Kato K, Fukunishi Y, Yanagihara E, Kato M, Saneto H, Izumoto H, Ueki H, Yoshino T, Kitahata S, Kawamura T, Kuroda T, Suga Y, Miyata H, Hirooka M, Abe M, Matsuura B, Ninomiya T, Hiasa Y. Comparison of Surgical Resection and Percutaneous Ultrasonographic Guided Radiofrequency Ablation for Initial Recurrence of Hepatocellular Carcinoma in Early Stage following Curative Treatment. *Cancers (Basel)* 14(22). 5524 (2022.11.10)
 27. 柳原映美、平岡淳、多田藤政、大濱日出子、野間章裕、越智麻理絵、小泉洋平、廣岡昌史、二宮朋之、日浅陽一。腹部カラードブラ超音波検査が診断に有用であった Meckel 憩室出血の 1 例。 *Rad Fan* 20(14). 44-46 (2022.11.30)
 28. 多田藤政、平岡淳、大濱日出子、野間章裕、越智麻理絵、柳原映美、加藤雅也、二宮朋之、小泉洋平、廣岡昌史、日浅陽一。造影超音波を施行し得た肝血管肉腫の 1 例。 *Rad Fan* 20(14). 48-49 (2022.11.30)
 29. 大濱日出子、平岡淳、多田藤政、野間章裕、越智麻理絵、加藤佳夏子、福西芳子、柳原映美、加藤雅也、實藤洋伸、泉本裕文、北畑翔吾、植木秀太郎、吉野武晃、川村智恵、黒田太良、須賀義文、宮田英樹、二宮朋之。ソナゾイド造影超音波を施行し得た肝芽腫の 1 例。 *Rad Fan* 20(14). 50-51 (2022.11.30)
 30. 平岡淳。肝悪性リンパ腫の腹部超音波・造影超音波検査所見の特徴。 *Rad Fan* 20(14). 52-53 (2022.11.30)
 31. Tada T, Kumada T, Hiraoka A, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Hatanaka T, Kakizaki S, Shimada N, Kawata K, Tada F, Ohama H, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Imai M, Kosaka H, Naganuma A, Koizumi Y, Nakamura S, Kaibori M, Iijima H, Hiasa Y. Adverse events as potential predictive factors of therapeutic activity in patients with unresectable hepatocellular carcinoma treated with atezolizumab plus bevacizumab. *Cancer Med* doi: 10.1002/cam4.5535. (2022.12.14)
 32. Ohama H, Hiraoka A, Tada F, Kato K, Fukunishi Y, Yanagihara E, Kato M, Saneto H, Izumoto H, Ueki H, Yoshino T, Kitahata S, Kawamura T, Kuroda T, Suga Y, Miyata H, Hanaoka J, Watanabe J, Ohtani H, Hirooka M, Abe M, Matsuura B, Ninomiya T, Hiasa Y. Clinical Usefulness of Surgical Resection Including the Complementary Use of Radiofrequency Ablation for Intermediate-Stage Hepatocellular Carcinoma. *Cancers (Basel)* 15(1). 236 (2022.12.30)